

タイトル：ゆめのたね放送局「私でもラジオで思いを発信できるんだ」

## 1, エピソード

ゆめのたね放送局札幌スタジオは令和4年8月に開局しました。私は第1期生です。ラジオパーソナリティになると、自分の番組を持つことが出来るのです。自分の思い、伝えたいことや感謝の気持ちを自分の声でリスナーさんに直接届けることが出来るのです。リスナーさんはいつでも気軽に私達の番組が聞けます。これってすごいことです。そして私は放送局のスタッフさんやパーソナリティさん等、素敵な仲間に出会うことが出来ました。

## 2, エピソード内容

東日本第2チャンネル、日曜日 20:30~21:00「食べるの大好き」

ゆめのたね放送局札幌スタジオ、パーソナリティ「chabo」

勇気を出してラジオの世界へ飛び込んでみました。半年で自分の居場所が増えて新しい自分を発見出来ました。そして新たに自分の存在を認めることが出来たのです。

パーソナリティの仲間同士で助け合い、励まし合い、応援したり応援されたり。

そんな私達をいつも優しくそっと応援してくれる、ゆめのたね放送局のスタッフの皆様にも出会いました。

人生のチャンスはある日突然やって来て、自分の挑戦が新たな人生を切り開くのです。

そんなこと出来ちゃうのですよ！

こんな世の中だからこそ自分を信じて、上を見上げてください。

始まりは Facebook で偶然見た広告「ゆめのたね放送局札幌スタジオ第1期生、パーソナリティ募集&説明会を開催します」が私の人生を変えました。

簡単にラジオパーソナリティになれるのか、半信半疑でした。

でも何故か気になる。なんか気になる。

自分の生活にハリがない、刺激がない、つまらない・・・中途半端で悩んでいた私は何回も Facebook の広告を見つけていました。

私は北海道の特別支援学校で栄養教諭をしながら、ボランティアでスポーツ栄養士をしています。残念ながらスポーツ栄養士の仕事が中途半端になっていました。コロナ禍で現場に行けず、自分が講師としてオンライン講座を開催すると、自分の声や話す技術に自信が持てず、落ち込んでばかりいました。ニュートリションコーチとしてチームに所属をして活動し

ていますが、チームと中途半端でお互いに真剣に向き合うことが出来ない状態でした。仕方ないよ、だって副業は出来ないし。公務員はつまらないと思いました。活躍をしているスポーツ栄養士の仲間が羨ましかったです。

でもスポーツが好き。北海道のアスリートさんに「食べることもトレーニングだよ」って伝えたい、特に教員のキャリアを生かして、ジュニアアスリートの応援がしたい・・・そんな悩みを抱いて葛藤の日々を過ごしていました。純粋に北海道のスポーツ界を応援したかったのです。

そんな日々だったので、興味本位で「ゆめのたね放送局札幌スタジオ説明会」にエントリーをしました。

説明会はリアルではなく、オンラインでエントリーしました。しかし、説明会当日に都合で説明会の開始時刻に遅れてしまいました。

他に参加者がいるから途中から参加しようと思っていたら、なんと受講者は私1人でした。申し訳なく「すみません、出席者私だけなのですね、10分位待っていただけますか？」とスタッフ2人にお伝えしたら「大丈夫ですよ、この場を借りてこちらで楽しくトークをしていますから」とお答えいただきました。なんて親切で温かい方々だろうと思いました。遅れたにも関わらず私だけのために、スライドを使用しながら親切丁寧に説明をしていただきました。メディア界でこんなに親切な方々がいらっしやるのだと正直びっくりしました。

「私たちゆめのたね放送局はパーソナリティの皆様を応援します」

え、応援してくれるの？

しかもパーソナリティになるための勉強、ゆめのたね大学もある。デビューに向けて、技術をしっかりと学ぶことも出来るのです。凄いな。話す技術を勉強出来るかもしれない。でもパーソナリティになるための大学だから、中途半端な気持ちではなく真剣に受講しなくてはいけないと思いました。

「Facebookを見てビビって来たのでしょ！何とかなるよ。気になるってことはやりなさいってことだよ」と相談した友人は肩を叩いて応援してくれました。

いよいよゆめのたね大学に入学しました。4ヶ月間、講義と課題に取り組みました。一緒に入学したパーソナリティ同期のメンバーは、素晴らしい方々ばかりで驚きました。私は大学の講義は緊張してしまい、構えてしまって何を学んだのか覚えていません。

1日目からマイクで話す実践収録があり、そして課題にも必死に取り組みました。

「パーソナリティになりたい」「番組を持って思いを伝えたい」「仲間をつくり、居場所をつくりたい」と夢を抱いている仲間と出会い、一緒に勉強を重ねていきました。

会う度に相手の魅力に興味を持ち、尊敬し合い、相談をし合い、そしてお互いに応援し合いながら大学の日々を過ごすことが出来ました。

全く縁のなかった人が同じ夢を叶えるために集まり、そして居場所を作りはじめて、居場所が出来て、仲間になってお互いに応援し合いながら日々同じ目標に向かい努力をする。

素敵ですよ。そんなこと出来ちゃうのですよね。

ゆめのたね放送局札幌スタジオのスタッフ、パーソナリティの皆様、いつも応援ありがとうございます。番組の相談をしたり、ゲストとして依頼したりされたり、番組の感想を伝えあったり、何気ない会話でグループラインが盛り上げる日もあります。勇気を出してラジオの世界へ飛び込んでみたら、半年で自分の居場所が増えて新しい自分を発見出来ました。そして新たに自分の存在を認めることが出来たのです。

### 3. メッセージ

「私でもラジオで思いを発信できるんだ」私は管理栄養士、栄養教諭、スポーツ栄養士として、食べることをテーマに伝えたい思いをラジオで発信しています。食の専門家としてこれからは全国のリスナーさんを応援していきたいです。ゆめのたね放送局は全国にスタジオがあり、パーソナリティの仲間もそれぞれの思いを日々発信しています。ラジオパーソナリティを目指している方々、自分の思いをたくさんの人に伝えたい方々はたくさんいらっしゃるかと思います。夢は叶います。デビューしてから2ヶ月経ちましたが、毎週日曜日 20:30 インターネットを通じて、自分の声が聞こえるようになりました。未だに不思議ですが、そんな自分に少し自信が持てました。

人生のチャンスはある日突然やって来て、自分の挑戦が新たな人生を切り開くのです。こんな世の中だからこそ自分を信じて、上を見上げてください。きっと何かを掴めますよ！